

国際通貨研究所様ウェビナー

三菱UFJイノベーション・パートナーズ(MUIP)

～会社紹介とアジアにおけるスタートアップ協業事例～

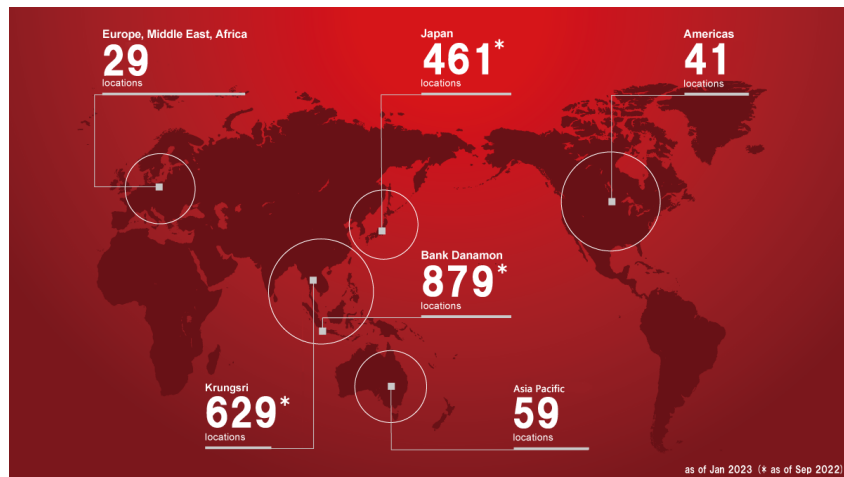
2026年4月22日

代表取締役社長 鈴木伸武

# MUFGの概要

銀行・信託・証券をはじめとするビジネス分野において、国内外でトップクラスの金融サービスを提供

## Global Network



## Major Alliance and Partner Banks



## Japan's largest bank

(US\$T)

Company	Headquarters	Total assets
1 Industrial and Commercial Bank of China Ltd.	China	5.7
2 China Construction Bank Corp.	China	5.0
3 Agricultural Bank of China Ltd.	China	4.9
4 Bank of China Ltd.	China	4.2
5 JPMorgan Chase & Co.	U.S.	3.7
6 Bank of America Corp.	U.S.	3.1
7 Mitsubishi UFJ Financial Group Inc.	Japan	3.0
8 HSBC Holdings PLC	U.K.	2.9
9 BNP Paribas SA	France	2.8
10 Crédit Agricole Group	France	2.5

Source: S&P Global Market Intelligence Report 2023

as of Dec. 31, 2022

# MUFGの東南アジアへの事業展開

タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピンの商業銀行を子会社化、持分法適用によりネットワーク化し、東南アジア展開を加速



\*1 MUFG REPORT2022より 2022年3月時点

\*2 総資産をもとに算出。インドネシアはタナモン銀行・三菱UFJ銀行ジャカルタ支店合算。タイ・フィリピンについては国営・政府系金融機関を除いた順位（2021年12月時点）

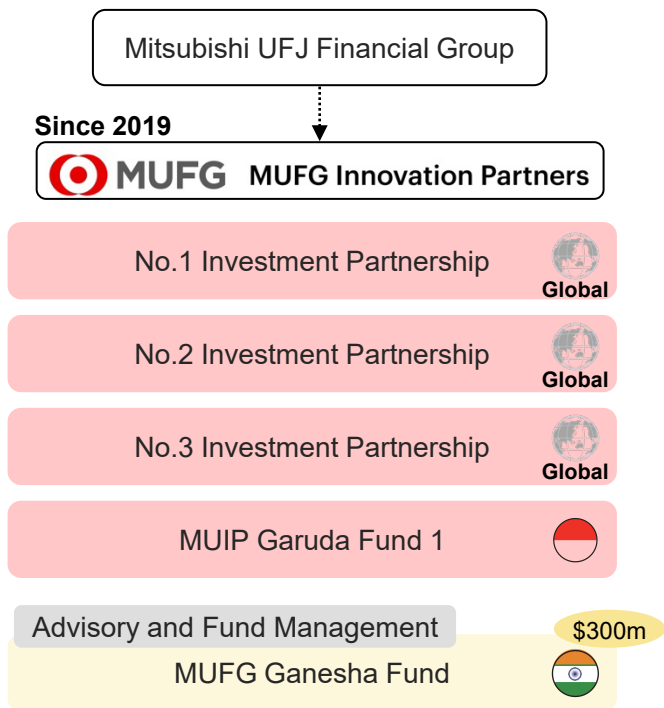
\*3 各社開示情報および社内管理計数（タイ・インドネシアは2022年3月時点、ベトナム・フィリピンは2021年12月時点）

\*4 Adira Finance 438拠点（含むチャリア店舗）を含む

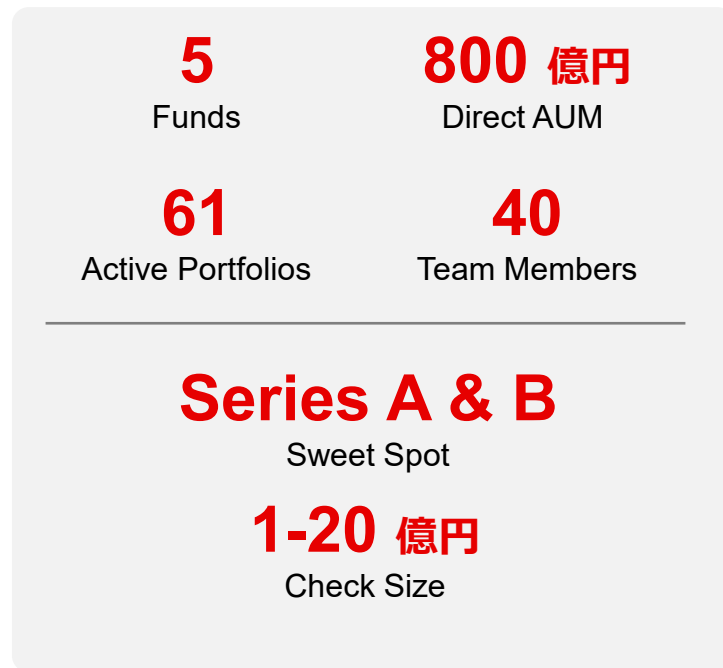
# MUIPの概要

グローバルに出資するFlagship Fund、インドネシア専用のMUIP Garuda Fundを運営する他、MUFGのバランスシート投資枠であるMUFG Ganesha Fundを共同運営

## Fund Structure



## By Numbers



# 主要メンバーのご紹介

スタートアップ出資に関連する多様なバックグラウンドと専門知識を持つプロフェッショナルで構成



**Nobutake Suzuki**

President and CEO



**Takashi Sano**

Chief Investment Officer



**Mayank Shiromani**

Deputy Chief Investment Officer



**Ryu Hirota**

Director, Investment



**Yasuaki Minotani**

Chief Fund Management Officer



**Kenji Hosokawa**

General Counsel



# MUIPの投資戦略

戦略出資の目的である「共創」、「変革」、「R&D」の達成のため、FinTechだけでなく金融サービスに隣接する様々なデジタル分野において投資領域を設定

Purpose	<b>共創</b> Collaboration	• MUFGとの事業共創により、スタートアップとMUFGにとっての新たな収益機会創出
	<b>変革</b> Transformation	• スタートアップの技術やサービスをMUFGや顧客企業へと展開し、競争力強化と効率性向上を実現
	<b>R&amp;D</b> Long Term Bet	• 中長期的に重要な領域・技術へ布石となる戦略出資

Areas	Lending	Payments	Wealth & Asset Management	Capital Markets	Banking Software	Vertical Software	Sustainability	Discovery
-------	---------	----------	---------------------------	-----------------	------------------	-------------------	----------------	-----------

# 地域別支援先一覧

## United States



ARCH



IPO

FIGURE



LIQUIDITY



Reflexivity



SellersFi



Teamshares<sup>1</sup>



Veem it and it's paid



## Japan

ABCash  
Technologies



HiJoJo Partners

IPO



Kanmu



MNTSQ

M&A



newmo



SUPER STUDIO

M&A

sustaincraft

## India & Others



<sup>1</sup>



<sup>2</sup>



Jupiter



<sup>1</sup>



<sup>2</sup>

M2P

move

ZOOMO

## Southeast Asia

AwanTunai

broom

CARSOME

Endowus

Gotrade

IPO

Grab

FAZZ



OY!


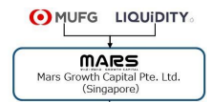








Pluang

Qoala

tinvio

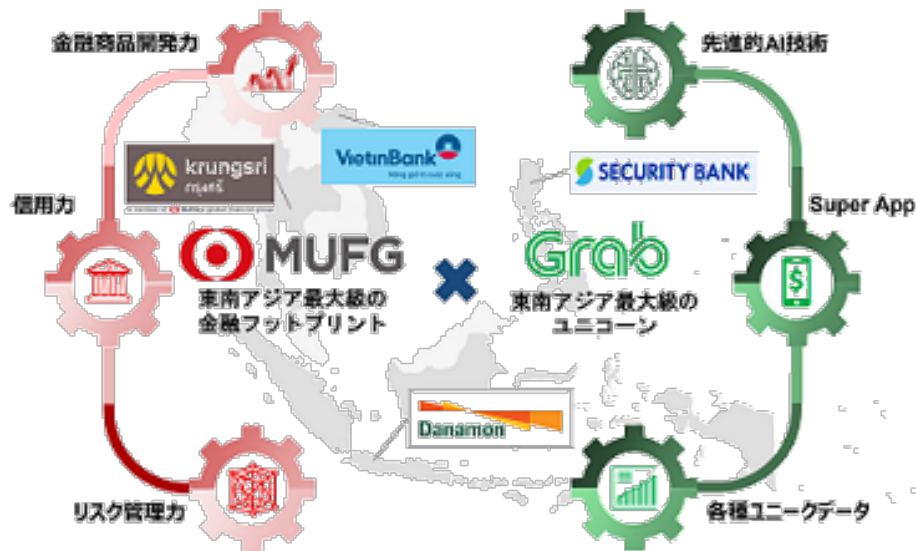
# MUFGとの協業事例

グループ各社とのシナジーにより、スタートアップとMUFGに新たな機会を創出していくを目指す

MUIP支援先	事業概要	MUFG協業
	イスラエル発のスタートアップであるLiquidity Capitalは、継続課金型等のビジネスモデルに対して、将来収益を独自のAI与信モデルによって評価し、米国および中東で成長資金の融資を行う。	2020年8月に三菱UFJ銀行との合併会社であるMars Growth Capitalをシンガポールに設立し、アジアのスタートアップに対し\$80mのGrowth Debt Fundを運営開始。2024年10月時点で <b>AUM10億ドルを超える規模にまで成長</b> 。 
	米国発のスタートアップであるRipcordは、独自のロボット技術、ソフトウェア及びAIを活用し、紙文書の電子化といったオフラインデータのデジタル化サービスを法人向けに提供。	日本において、Ripcordと三菱UFJ銀行は倉庫に紙で保管している印鑑票を電子化する大規模なプロジェクトを開始しており、今後5年間で <b>数百万ドルのコスト削減</b> が見込まれている。また、三菱UFJ銀行はRipcord社のソリューションをMUFG顧客に展開してDXを推進。 
	Mooveは配車サービスの運転手向けに、独自のAIソリューションを活用し、新車購入における自動車ローンの提供を行う。ナイジェリアを皮切りに、アフリカ複数カ国、インド、英国、UAE、東南アジア、米国に事業を拡大。	スズキ自動車、三菱UFJ銀行、Mooveは2022年8月に戦略的提携の覚書に署名し、アフリカにおけるスズキの <b>4,000台の新車販売に貢献</b> した。MUIPは、 <b>スタートアップ、MUFG、顧客/パートナー</b> 間の3社によるオープンイノベーション、“3Wins”を推進。 
	Lendbuzzは、米国でFICOスコアがゼロまたは低い顧客に対して自動車ローンを提供。自動車ディーラーに対してローンオペレーションデジタル化のソフトウェアも提供し、B2B2Cモデルを通じてローンを提供。	Lendbuzzは、独自のAIスコアリングモデルでこれまで伝統的な金融機関がカバーし辛かったユーザーに自動車ローンを提供し、急成長している。MUFG Americasは2024年5月に <b>1億米ドルの融資枠を設定</b> し、同社に必要な成長資金を提供することで、その事業成長を後押ししている。 
	日本において、企業向け請求管理SaaS「バクラク」を主要事業として運営。他にも、JVであるデジタル証券事業や生成AI事業も推進。	LayerXとMUFGとの強みを掛け合わせ、2024年10月よりバクラク for MUFGを日本の法人顧客に展開を開始。 <b>顧客のデジタルトランスフォーメーションを推進</b> し、新たな付加価値を創出。 

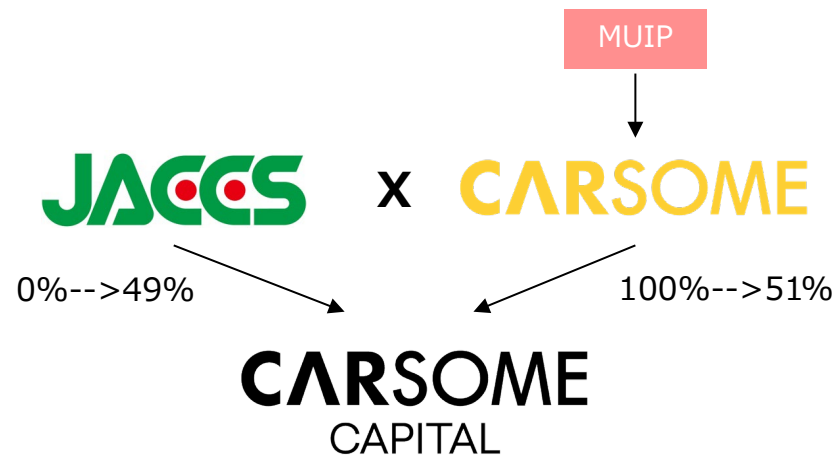
## アジアにおけるスタートアップ協業の取り組み①~Grab+MUFG

- Grabは東南アジア全域でライドシェアリング、フードデリバリー、デジタルバンクの事業を展開
- 三菱UFJ銀行とMUIPにより合計700百万ドル超の出資を2019~2020年にかけて実施
- インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナムに展開するMUFGの東南アジアのグループ銀行とGrabによる各種提携やGrabのAIテクノロジー等の日本への還元といった協業に取り組み



## アジアにおけるスタートアップ協業の取り組み②~Carsome+JACCS

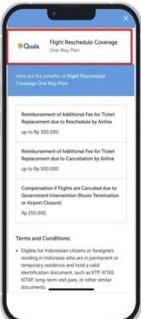
- Carsomeはマレーシアで創業し、インドネシアやタイといった東南アジア各国で中古車関連のデジタルプラットフォームを展開。中古車にかかるあらゆる商流を押さえ、ユーザーからの買取であるC2B、オークションプラットフォームであるB2B、ユーザーへの販売であるB2C事業を展開、各商流でデータを構築
- マレーシアにおいては、プラットフォーム上で自動車ローンを提供するCarsome Capitalを運営しており、金融事業も展開
- 今回、同Carsome CapitalにJACCSが49%を出資し非常勤取締役等3名を派遣、共同事業として運営することが決定、2025年2月にプレスリリース




## アジアにおけるスタートアップ協業の取り組み③~Qoala+HomeCredit

- Qoalaはオムニチャネルのデジタル保険販売プラットフォームや自社で保険会社を運営。同社は主にインドネシアとタイで事業を展開しており、さらに足元ではベトナムとフィリピンへの進出を進めている
- 2024年初にMUIPが出資して以来、インドネシアのMUFG子会社であるダナモン銀行との協業を進めてきた他、同じくMUFG子会社であるHome Creditとの連携がスタート
- HomeCreditでローンを利用してPC等の商品を購入する顧客に対してQoalaの保険をクロスセルするといった取り組みを開始

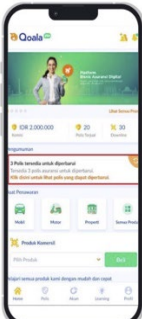
1 Partnership - Embedded Insurance



**80+**  
Ecosystem partners including:



2 Agent-Led Channel



**60k+**  
Agent partners in ID & TH

**~800k**  
Policies distributed in 2022



